

2学期終業式

2学期も今日で終わりです。この2学期も生徒の皆さんには実り多い4か月だったのではないのでしょうか。1年生は朝の部活動が9月から始まり、生活の仕方も変化したことでしょう。大中フェスタや合唱祭に取り組み、大中学生としての自覚も高まったことでしょう。2年生は3年生が中心だった部活動や生徒会活動からバトンを渡され、大中の中心として活躍を始めることとなり、一段と成長してきたことを感じます。3年生は部活動や生徒会活動では1、2年生に大役を譲ったとはいえ、先輩として下級生の見本となり活躍を続けてくれています。とりわけ大中フェスタや合唱祭での3年生の取組はとてすばらしく、1、2年生が目指す大中学生の姿となりました。平成31年4月の始業式から令和元年5月になり、早いものであと一週間もすると、令和2年1月となります。今年は時間がたつのがとても速いような錯覚を覚えますね。2学期の終わりは、この1年の終わりでもあります。目まぐるしく時が動いた2019年でしたが、そんな中で自分を振り返り、少しでも自分らしさを発見したり、自分らしさを発揮したりすることができたなら、成長した自分をほめてあげましょう。そして、迎える2020年はビッグイベントの東京オリンピックが開催されます。今年と同じように歴史的な年を過ごせることに感謝し、新たな決意や目標を定め、すてきな日々を送るようにしましょう。



<大中フェスタの様子>

終業式意見発表

「我が社の誇り」

1年6組 近藤 悠生

高木科学工業株式会社、大府工場、副工場長の近藤悠生です。僕が二学期に心に残っているのは、大中フェスタです。僕たちは科学工業株式会社という題でワークショップを行いました。1学期には大中フェスタが初めてだということもあって、なかなか案が出ませんでした。2学期になって、担任の先生の交代もありみんなが動揺していた中、先生の提案でワークショップをすることに決まりました。ワークショップでは、光を七色に分ける分光シートを使った万華鏡と、組み紐をすることになりました。万華鏡の準備は、紙コップにひたすら穴をあける、分光シートを7ミリの大きさに切る、それをシールで貼る、など地味な作業を一人十回もしました。完成した材料の数は約千個分にもなりました。ですが、みんなグチも言わずに真剣に作業しました。そのおかげで僕たちは大中フェスタ週間には、残業をあまりせずに帰ることができました。当日、小さい子どもからお年寄りまで、たくさんの人たちでにぎわいました。僕はアイデアに関わった組み紐の担当で、目標は、お客さんに楽しんでもらうことでした。組み紐は細かい作業が多く、困っている人もいましたが、最後には完成して笑顔でみんなお礼を言ってくださいました。大中フェスタを通して、クラスの団結力と一人一人の積極性が高まり、仕事の楽しさを知ることができました。最後に、僕たちの社訓を聞いてください。1年6組起立！気を付け！「品質は、信頼。」「ていねいな仕事は、信頼の証。」



「パートリーダーとして学んだこと」

2年3組 金子 絢美

私たちのクラスには「楽しくないことはやりたくない。」という雰囲気があります。合唱祭は決められた曲の中から選び、なおかつ希望した曲が歌えるとは限りません。だから歌わされている感じが強く楽しく思えない人、練習をしたくない人がいて、合唱祭の練習はクラス内で温度差がある最悪な雰囲気でスタートしました。私は普段か



ら物事を合理的に考える傾向があり無駄なことや面倒なことは苦手です。「よしやるぞ！」と盛り上げることや自分の意見を伝えることは得意ですが、それぞれの意見を聞き、細かい部分を調整する力は弱いと感じています。合唱祭の練習では、パートごとでやる気の差があり、どんどん上達していくパートもあれば、なかなか上達していかないパートがありました。そのため、上達しているパートはたくさん全体練習したいが、他のパートはパート別練習したいと意見が対立してしまいました。誰かが自分の意見を無理やり押し、みんなが納得しないまま練習することが何度かありました。そこで、どちらの意見も取り入れつつ、時間で区切りながら、パート別でも全体でも練習していくようにしました。リーダーとしては不十分でしたが、できていない部分に目を向けるのではなく、うまくできた部分を更によくしたことがよい合唱につながったと思います。リーダーとして、自分の意見を主張して働きかけることも大切ですが、みんなの気持ち・考えを受け入れ、調整していく力も必要であったと改めて気づきました。これからは自分の考えで判断せず、いろいろなものの見方や考え方をすることで何が問題になっているか考え、話し合いをしていけるリーダーになりたいです。

「私のエネルギー」

3年5組 谷口 美織

私は合唱祭で、学年伴奏と学級伴奏の二役を務めました。その中でも、学級伴奏について話したいと思います。毎日コツコツ準備し、いよいよやってきた合唱祭週間。その時点では緊張でミスだけが目立っていました。もともと緊張しやすいので、本番ではもっと緊張するのだろうかと思っていました。しかし、こんな私を支えてくれたのが、大地讃頌とクラスのみんなでした。昼放課に毎日違うパートの人たちと練習することで、緊張は徐々に解けていきました。また、キーボードが聞こえにくかったり、テンポが速くなって歌いにくかったりしましたが、優しく「ここ、こうしたほうがいいと思うよ」「頑張って」「手伝うよ」と言ってくれたみんなを私はエネルギーにして頑張ることができました。そして迎えた11月8日。1, 2年生の演奏がとてもうまく、体が締め付けられるような緊張に襲われました。しかし、給食後、最後の練習を行った際にクラスの子が笑わせてくれて、教室の雰囲気が和み、私の中のマイナスな心も一瞬で吹き飛びました。その甲斐あって、本番ではとてもリラックスした状態で演奏できました。そしていよいよ結果発表。「最優秀賞5組」と言われた瞬間、夢の世界に来たみたいにしてすべてがふわふわとしていて信じられなくて、ただ驚くばかりでした。今まで私たちがやってきたことが実った瞬間でした。とても大変ではありましたが、学年伴奏と学級伴奏という二つの大役を終え、任されたことを頑張ってやりきる喜びを知りました。



部分日食が見られます

12月26日(木)には日本で部分日食が見られます。名古屋の予報では、14時25分に欠け始め16時33分に復元します。日没が16時48分ですので、南西の開けた場所が見るのにはもってこいです。しかし、太陽光はとても明るいので、下敷きやCD、フィルムの切れ端、すずをつけたガラス板、サングラスやゴーグルなどを使って太陽を見るのはいけません。見た目ではあまりまぶしく感じなくても、光の遮断が不十分なものや、目に有害な波長の光を通しやすいものがあり、気づかぬうちに網膜を損傷してしまう危険性があります。望遠鏡や双眼鏡は、太陽の光や熱を集めて強くするため、肉眼で太陽を見る以上に危険です。必ず「日食(太陽)観察用」と明記された製品を使って見るようにしましょう。一番安全なのは、厚紙にピンホール(小さな穴)をあけて、日食中の太陽の光を当てます。すると、太陽の影の中に映った太陽の光が欠けた太陽の形になっています。今のところ12月26日(木)の天気予報は曇りか雨のようです。もし、いい天気になったら安全に気を付けてぜひ見てください。



☆ホームページでも学校の様子をお知らせしています。ぜひご覧ください。 <http://www.obu-c.ed.jp/obu-j/>

3/31までは、 <http://www.obu-j.ed.jp/>からも新HPへ案内されます